

令和5年11月20日

令和5年度 第2回 大阪府立東住吉支援学校 学校運営協議会 実施報告書

大阪府立東住吉支援学校  
校長 甲斐 俊夫

日時	令和5年11月20日（月） 午後1時30分～午後2時30分
場所	大阪府立東住吉支援学校 調理室
委員	五位塚和也 船戸正久 羽室剛 栗田真理 小山真澄 【欠席】北畠正寛
学校	甲斐俊夫（校長） 坂田享介（准校長） 植野耕司（教頭） 造田明德（教頭） 澤 功（事務長） 萬井俊治（首席） 蔵本真澄（首席） 池田浩明（首席） 中尾葉子（首席）
議題	（1）令和5年度学校教育自己診断について （2）教科書採択について （3）質問及び意見聴取協議 （4）今後の予定について
協議 要旨	<ul style="list-style-type: none"><li>委員の辞任、新たな委員の着任について（紹介） 副会長にも就任→全員により承認</li></ul> <p>（1）令和5年度学校教育自己診断について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>昨年度回収率26%と下がった。</li><li>原因としてはwebの回答を採用したからと思われる。</li><li>昨年度の運営協議会で①webと紙での同時配布、②安心メールで回答を促す、③答えにくい質問があるかもしれないので見直す、と助言を受け今年度見直した。</li></ul> <p>資料より：保護者への質問は達成項目の削除や内容の吟味を行い、今年度20項目に変更（昨年度25項目）</p> <p>【質問及び意見聴取】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「適切な言葉かけ」「人権を尊重する」など言葉が抽象的である。もう少しわかりやすい文章にしてはどうか。 →教育庁からも「子どもの人権」という文言が採用されているので、そのまま使用していた。 「子どもの人権」のところを「一人の人間として」「人格」「心を尊重している」「子どもの思いを尊重している」などに変更してはどうかと助言いただいた。</li><li>質問内容を整理しなおして、順序だてて並べてほしい。 →並びを固定してしまうと、前の答えに引っ張られてしまうことはあるが、ある程度項目でまとめた方が回答しやすくなる。「授業」「関わり方」などでまとめているのかも、と助言いただいた。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【保護者⑧】【教職員③】の「適切に応じてくれる」に対して、もう少し明確にしてほしい。「適切」＝「完璧」に捉えてしまう。「適切」は人によって読みとり方が違うと思う。曖昧であるのであれば、そこは変えた方がよいのではないか。</li> <li>→「的確に」「正確に」など方向性をつけるといい、と助言いただいた。</li> </ul> <p>(2) 教科書採択について</p> <p>【質問及び意見聴取】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度との比較があればよい。何が新しくなったのか、なぜ変えることになったのかがわかるとよい。</li> </ul> <p>(3) その他、学校に対して</p> <p>【質問及び意見聴取】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害が起きた時の個別計画はたてているのか。</li> <li>→研修や見直しを行い、校内での避難体制はとれつつある。</li> <li>地域と家庭で作る個別の避難計画の作成状況は把握できていない。</li> <li>区によって作成状況は違っているようである。放課後デーサービスと学校との連携が必要。</li> </ul> <p>〈まとめ〉「適切に」がどのような方向性なのか考えていく必要がある。</p> <p>アンケートをとる、ということに意義がある。基準が見えてくる。</p> <p>災害など、学校は教育以外に求められているものがあるが、今後もこのような場で検討していけたらよい。</p> <p>(4) 今後の予定について</p> <p>第3回は2月頃で実施予定。</p>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度 学校教育自己診断【教職員】【保護者】</li> <li>・令和6年度 使用教科用図書選定理由一覧表 (肢体不自由教育部門 知的障がい教育部門)</li> </ul>
備考	傍聴者【 0 】名